

会員報告

市庁舎コンサート

伊藤 靖幸

皆さま初めまして。兵庫県で自立生活をしている伊藤靖幸と申します。受傷レベルは、C4.5です。そんな私が生きがいとしているのが、ブルースハーモニカです。学生時代にギター、ブルースハーモニカで演奏していた経験があり、受傷中に呼吸のリハビリとしてブルースハーモニカを吹き始めました。今も毎日ハーモニカに触れ、定期的にいろいろな場所で吹かせていただいています。そして、1月16日に市庁舎コンサートで演奏してきましたのでお伝えしたいと思います。

市庁舎コンサートとは、三田市で市民文化活動の普及・振興や開かれた市役所をめざして、登録をした団体・個人が毎月1組、第2木曜日に披露するコンサートです。時間は30分です。今まで経験してきた中で一番長い時間で、どう構成しようかと悩みました。私には頸髄損傷の障害以外に、高次脳機能障害があり、優先順位を決めて物事を上手く進めることや、頭の中で順序立てて、自分の伝えたい事を上手く話すのが難しい為、準備には人より時間がかかるので、演奏依頼があったその日から準備に取り掛かりました。MCで何を自分が伝えたいのか、曲は何を演奏し、何曲演奏するのか、またどの順番で演奏するのか、ヘルパーさんにも色々アドバイスをもらい、3曲とMCすることに決めました。曲は「Let it be」「Isn't she lovely」「Comin' Home Baby」に決めました。この3曲に決めた理由は、それぞれあるのですが、「Let it be」は歌詞が前向きで自分が救われた曲だったため選びました。曲が決まった事で、猛練習が始まりました。



いよいよ当日です。自前の衣装に着替え出発です。開始より2時間30分も前に市役所へ行き、担当の方と軽い打ち合わせを行いました。事前に聞いていたのですが、控え室みたいな場所があり、そこで軽く音出ししてしていました。そうこうしていたら、音響の方が入ってこられて音響の調整をしていただきました。今までも音響の調整は何度も行ってきましたが、最高だと思えるくらい良かったです。精神を整え、いざ会場へ。立派な舞台が作られていて、一気に緊張が上がります。30分前に着くと80席に数人が座っているだけだったのに、10分前には、80席がほぼ埋まっていました。(じたばたしても仕方ない)心を決め、いざ。アナウンスがあり、開始です。カンペを見ながらなのに言葉がたどたどしい(笑)。始まる直前に、司会の方からアンコールはどうしましょうか?といわれて、戸惑いました。だって、コンサート自体初めてなのにアンコールなんて…だけでも求められたら答えるのが男だと今は亡きおぼあちゃんの教え(笑)演奏は、上手く行ったところもありましたが、まだまだ練習が必要なところが多くあると感じました。でも、初めての一人でのコンサート。とても貴重な体験をすることが出来ました。



最後に重度障害者になっても、音楽を楽しめるという姿を沢山の方に知ってもらいたく、色々な場所で演奏してます。どこでも足を運びますので、是非お声かけの程よろしくお願ひします。

※神戸新聞 掲載記事

25 わがまち

2020年(令和2年)1月15日 水曜日

不申

三田 阪神

■北摂総局
〒669-1513
三田市三輪2-1-9
TEL: 079-563-2256
FAX: 079-563-2286
e-mail
hokusei@kobe-np.co.jp

■本社報道部
〒650-8571
神戸市中央区
東川崎町1-5-7
TEL: 078-362-7040
FAX: 078-360-5501
e-mail
houdou@kobe-np.co.jp

火事や事故の速報、写真、映像提供、身近な話題、生活情報を上記へご連絡ください

無料送迎致します。

料理旅館 玉川楼

丹波篠山市興福町32
TEL: 079-554-2266
http://www.tamegawarou.com

きょうの天気

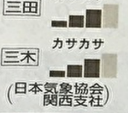
三田	三木
午前	午後
夜	夜
10	11
-1	2

あすの天気

三田	三木
40	40

○数字は降水確率
→のち一時
//時々

素肌乾燥(15日)



三田の気温

14日 午後3時

曇

最高	9.5
最低	-3.6
湿度	52.5%

市消防本部

20歳の時にバイクで事故に遭い、首から下にまひが残る伊藤靖幸さん(33)＝三田市高次2＝が16日、市役所で行われる「市庁舎コンサート」でハーモニカの演奏を披露する。頸椎を損傷し、呼吸機能

が低下。最初は言葉も話せなかったが、懸命なリハビリで吹けるようになった。伊藤さんは「重度の障害があっても音楽を楽しめることを知ってもらいたい」と語る。(山脇未菜美)

事故で首から下にまひ 高次の伊藤さん ハーモニカ思い響かせ



介護士にハーモニカをセッティングしてもらった伊藤靖幸さん。曲調によって使うものは異なり10種類以上を持っているという＝三田市高次2

鳥取県出身の伊藤さんが、右折すると、赤信号を無視した車が左側からぶつかった。事故に遭ったのは2006年。調理師として働いていた京都の日本料理店から帰る途中、バイクで交差点を

あす夕「市庁舎コンサート」

ジャズやポップスを演奏 「人とつながり持ちたい」

3歳年上の兄の影響で中学からギターを始め、高校では友人と2人で男性デュオ「ゆず」の曲を練習し、ハーモニカも担当した。当時を思い出し、バンドに誘われたよううれしかった。

体がまひしているため、肺活量は一般の人の半分以下。最初は息の量が足りず、1音ずつしか音が鳴らせなかった。毎日練習すること10個の穴を連続で響かせられるように。入院するお年寄りにシンガー・ソングライター小田和正さんの「言葉にできない」などを披露したのをきっかけ

「昔やってたんでしょ？」私が伴奏でピアノを弾く

16日の演奏会では、米歌手ステイビー・ワンダーさんの曲やジャズなどを音響に合わせて奏でる。今も事故に対してやりきれない気持ちには消えないが、伊藤さんは「現実として進んでいくしかない」と進んでいく。外に出て、つながりを持ちたいと話す。

「悔やんで、悔やんで、悔やんで。毎日も悔やみきれない。」「毎日死にたいとは思えなかったし、誰としゃべりたくなかった。声が出さず出せるようになって、家族や看護師に暴言を吐いてしまい、さらに自己嫌悪になった。3カ月後に別の病院に転院すると、1人の女性看護師にハーモニカのリハビリを提案された。」「昔やってたんでしょ？」私が伴奏でピアノを弾く

に、ハーモニカが生きてる活カとなった。

実家で過ごした後、6年前に三田に引っ越した。同じ障害を患う宮野秀樹さん(48)＝加東市＝が1人暮らししていること知り、「いつまでも両親に迷惑を掛けられない」と思ったという。今は宮野さんが事務局長を務めるNPO法人「ぼしる」の介護士の24時間サポートを受け、電動車いすで1人暮らしする。体温調整が難しかったり、急に足がのびたり起きたりと体調管理は大変だが、病院や老人ホームでの慰問演奏を行うのが楽しい。

演奏会は入場無料。午後5時半開演。市文化スポーツ課 ☎079・559・5022